

市政記者クラブ 様

令和6年3月7日（木）  
健康福祉局新型コロナウイルス感  
染症対策部感染症対策室  
担当：志水・丸山  
電話：972-2631

## 麻しん（はしか）患者の発生について

令和6年3月6日（水）、東大阪市保健所から名古屋市保健所に、東大阪市管内で発生した麻しん患者との接触者が名古屋市内にいたため、健康観察等対応するよう依頼がありました。対象者について名古屋市衛生研究所で遺伝子検査を実施したところ、3月7日（木）に麻しん陽性であることが判明しました。

その後、本市が患者の疫学調査を実施し、下記の内容を把握しました。

本公表は、当該患者と接触した方が麻しんに感染している可能性があるために、広く情報提供するものです。

### 1 患者Aについて（※ワクチン接種歴及び行動等は、疫学調査時の患者自己申告に基づくものです。）

#### (1) 概要

20代女性 市内在住 ワクチン接種歴なし

#### (2) 行動等

2月23日（金）～24日（土）	3月1日に大阪府公表の麻しん患者と同じ航空機に搭乗
3月2日（土）	鶴舞駅12:21発、金山駅12:23着のJR中央線を利用 19時頃まで屋外でアルバイト勤務（中区） 19時から21時頃まで飲食店A（中区）で食事 21時頃金山駅発、鶴舞駅着のJR中央線を利用
3月3日（日）	発熱出現
3月4日（月）	倦怠感あり
3月5日（火）	一時解熱したため、14時から15時30分頃、学習塾A（東区） でアルバイト勤務
3月6日（水）	再び発熱出現。医療機関A（中区）を午前と午後を受診
3月7日（木）	発疹出現 名古屋市衛生研究所での遺伝子検査の結果、麻しん陽性と判定

## 2 患者Bについて（※ワクチン接種歴及び行動等は、疫学調査時の患者自己申告に基づくものです。）

### （1）概要

20代女性 市内在住 ワクチン接種歴なし

### （2）行動等

2月23日(金)～24日(土) 3月1日に大阪府公表の麻しん患者と同じ航空機に搭乗  
3月4日(月) 22時30分から24時頃、その他の公衆浴場施設A（中川区）を利用  
3月5日(火) 発熱出現  
14時頃から19時30分頃、学習塾A（東区）でアルバイト勤務  
3月6日(水) 医療機関A（中区）を午前と午後を受診  
3月7日(木) 発疹出現  
名古屋市衛生研究所での遺伝子検査の結果、麻しん陽性と判定

## 3 麻しん（はしか）について

感染すると、10日から12日程度の潜伏期間を経て、**38℃前後の発熱**が2～4日続き、咳や鼻水といった**風邪のような症状**が出ます。その後、**高熱**（多くは39℃以上）が出るとともに、**発疹**が出現します。症状は7～10日で回復します。

空気感染、飛沫感染、接触感染によりヒトからヒトに感染します。感染力は非常に強く、感染する期間は発症の1日前から解熱後3日頃までとされています。免疫を持っていない人が感染すると、ほぼ100%発症すると言われています。

## 4 注意喚起

- ・麻しん（はしか）を疑う高熱と発疹の症状が現れた場合は、事前に医療機関に連絡し、麻しん（はしか）を疑う旨を伝えた上、医療機関の指示に従い早急に受診していただくことが大切です。また、受診の際は、周囲に感染を広げないよう公共交通機関の利用は避けましょう。
- ・麻しんは手洗い、マスクのみで予防はできず、予防接種が最も有効な予防法です。1歳（第1期）と小学校入学前年度（第2期）に、MRワクチンの定期予防接種を忘れずに実施することが重要です。定期接種の対象者だけではなく、医療・教育関係者や海外渡航を計画している方、麻しんの罹患歴がなく、2回の予防接種歴が明らかでない方は予防接種を検討してください。

## 5 参考

今回の麻しん患者の発生で、令和6年の報告数は本市内では1、2例目（愛知県内では1、2例目）になります。

報道機関各位におかれましては、患者等の個人に係る情報について、プライバシー保護や人権尊重等の観点から、提供資料の範囲内での報道に、格段の御配慮をお願いします。

令和6年3月1日(金)

健康部

問い合わせ先  
健康部 感染症対策課  
担当：松山  
電話：072-960-3808

## 麻しん(はしか)患者の発生に伴う注意喚起について

令和6年2月29日(木曜日)に市内医療機関から保健所へ麻しん(臨床診断例)の発生届があり、検査の結果、本日、麻しん陽性と判明しました。保健所で患者の疫学調査を実施したところ、当該患者は2月23日まで海外に滞在していたことが判明し、感染可能期間に患者が利用した航空機、空港口ビーやその他施設等で当該患者と接触した方は、麻しんに感染する可能性がありますので、広く報道提供するものです。

### ■利用便(エティハド航空 EY830便)

ザイド国際空港(アラブ首長国連邦)～関西国際空港

2月23日(金曜日) 21:40発～2月24日(土曜日) 11:20着

### ■利用時間・利用施設

・2月24日(土曜日) 11:20～12:00

関西国際空港 第1ターミナルビル 1階 国際線到着口付近の男性トイレ

・2月24日(土曜日) 12:00～12:30(この間のいずれかの列車に乗車。乗車時間は5分程)

南海電鉄(関西空港駅～りんくうタウン駅)

・2月24日(土曜日) 12:30～12:40

スーパーセンターTRIAL(りんくうタウン店) 入口トイレ(店舗への立ち入りなし)

(注)施設への問い合わせはご遠慮ください。

### ■利用便同乗者、施設利用者の皆様へ

上記の航空機および施設を利用した方で、利用後3週間以内に麻しんを疑う症状が現れた場合は、事前に医療機関に連絡のうえ、すみやかに受診してください。

## 1. 患者概要

東大阪市在住 20代男性（麻しん予防接種歴なし）  
発症日 令和6年2月20日（発熱）  
診断日 令和6年2月29日（検査確定 令和6年3月1日）  
主な症状 発熱、咳、鼻汁、結膜充血、発疹、下痢（現在快方傾向、自宅療養中）  
海外渡航歴 有（令和5年11月14日～令和6年2月24日）  
（アジア、中東の数ヶ国）

（注）患者及び患者家族等の個人情報については、プライバシー保護の観点から本人等が特定されることのないよう、格段のご配慮をお願いします。

## 2. 経過

- ・令和6年2月20日（火曜日）発熱、鼻汁
- ・令和6年2月22日（木曜日）咳
- ・令和6年2月24日（土曜日）発疹、結膜充血
- ・令和6年2月24日（土曜日）帰国（関西国際空港）後、市内医療機関を受診
- ・令和6年2月29日（木曜日）市内医療機関より「麻しん（臨床診断例）」の届出

## 3. 麻しんの症状等

麻しんは、感染すると約10日後に発熱や咳、鼻水といった風邪のような症状が現れ、2～3日熱が続いた後、39度以上の高熱と発疹が出現します。これらの症状が現れている間は、咳や鼻水に麻しんウイルスが出るので、免疫のない人に感染させてしまいます。

## 4. 医療機関の皆様へ

・発熱や発疹を呈する患者が受診した際は、麻しんの予防接種歴の確認等、麻しんの発生を意識した診療をお願いします。患者（疑い含む）は、個室管理を行う等、麻しんの感染力の強さを踏まえた院内感染対策を実施してください。

- ・臨床症状から麻しんと診断した場合には、直ちに保健所へ届出ください。

## 5. 注意喚起

- ① 麻しん患者と接触した場合は、潜伏期間を考慮し、接触後21日間の健康観察が必要です。

- ② 上記航空機、施設を利用した方で3月16日(土)までに発熱・咳、鼻水といった風邪症状・発疹の症状が出現した場合は、医療機関の受診が必要です。受診する前に最寄りの保健所に連絡するか、必ず事前に医療機関に連絡し、「麻しんかもしれない」ことを伝えたくえで指示に従ってください。連絡なく医療機関を受診することは絶対にやめてください。
- ③ 予防接種を1回も受けていない乳児や妊婦が発症すると重症化や流産する危険もあります。定期の予防接種は、1歳児と就学前の幼児(年長児)です。対象者はできるだけ早めに受けるようにしましょう。
- ④ 本件に関するご相談は、東大阪市保健所(072-960-3805)までお願いします。